

MLS ドラマ英会話 代表・太田雅一著

「生徒の英会話力が向上する 英語劇・ドラマメソッド」

を元にした

実践ワークショップよりのアンケート (全文掲載)

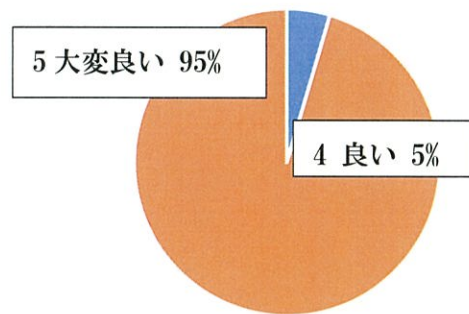
(英語基本指導技術研究会 (通称北研) にて)

対象：英語教師

2024.6.15 2:30-5:00 pm 大田区志茂田中学校

参加数 28 名 (アンケート回収 22 名)

5 (大変良い) 評価—21 名 (95%) 4 (良い) 評価—1 名 (5%)



アンケートより：

- * 「言葉に命が吹き込まれ、その人自身が輝くことを実感した」
- * 「セリフが記号ではなく、意味を持つのだと改めて感じさせられた」
- * 「心と体がほぐされ、じぶんの声、身体、表情で表現できる幅がどんどん広がっていき事を実感した」

■ 英語基本指導技術研究会 (略称 北研) 主宰：北原 延晃 (きたはら のぶあき)

<https://www3.hamajima.co.jp/kitaken/>

MLS (Model Language Studio)によるドラマメソッド研修会アンケート

北研6月例会(2024.6.15.)

1

1. 本日のワークショップ

とても良かった 5

2. 設問1について具体的な理由

実際の言語使用場面に即した練習を重ね、使えるようになっていくことで自信が持てると思いました。

3. 特に良かった、ためになったと思われるアクティビティ

Dialogue Dynamics

4. 今後期待すること

習い事として英語劇に取り組んで舞台で発表までする場合、どのくらいの練習(期間、回数、頻度、1回あたりの練習内容)をされているのか知りたいと思いました。

5. 何でもご自由にお書き下さい。

中学校で教えています。中学生も楽しみながら練習できそうだと思います。

2

1. ワークショップ

5 とても良かった

2. 理由

大きな声で話して!と教員に言われるのではなく、主体的に楽しんで声を出し、豊かな表現力を出せるノウハウを学ぶことができたので。

3. 特に良かったアクティビティ

Gibberish

恥ずかしがっている生徒も殻を破れ、のびのび演じることができるきっかけになると思いました。

4. 今後期待すること

もっといろんな先生方に英語劇を通じて英語を学ぶことの有効性を知ってもらいたいので、教育現場にどんどん伝えていってほしいです。

5. 私は、自分たちで劇を作り、発表するということを授業でも行っています。購入させていただいた本を拝読させていただき、教科書を使って英語劇をするノウハウも学びたいと思います。 貴重なお話をありがとうございました。

3

1. 本日のワークショップ

5 大変勉強になりました。

2. 具体的な理由

英語劇を文化祭で行っているものの、自分の経験がなく分からないことが多かったのですが、今回メソッドを学び、劇の指導だけでなく、日ごろの授業でも活かせる内容が多く大変勉強になりました。

3. 特によかったアクティビティ

ジブリッシュ（意味のない言葉を発する）で台本を読んだとき、生徒もすごく楽しめるな～と思いました。

4. 今後期待すること

実際に教室を舞台に見立ててどう立ち位置をするのか、などの演劇の基礎をもっと学んでみたいと思いました。

5. 自由コメント

英語劇で楽しく英語力を伸ばす魅力をさらに身をもって感じる事ができました。

自分の授業でも、今年度の英語劇でも早速活かしていきたいと思います。

素敵な講演を本当にありがとうございました。

（懇親会でも気さくに話して下さい、楽しくまた大変勉強になりました。

ありがとうございました）

4

1. 本日のワークショップ

とても良かった 5

2. 設問1について具体的にその理由は？

単調になりがちな音読活動ですが、本日学んだ指導法でバラエティ豊かに「生徒から引き出す」指導ができると感じました。

3. 特に良かった、ためになったと思われるアクティビティは？

Dialogue Dynamics

4. 今後期待することは？

（教えていただきたいこと）即興準備について

5. 何でもご自由にお書き下さい。

本日は貴重な学びの機会を与えてくださり、ありがとうございます。音読劇は特に英語があまり得意でない生徒にとって効果的の学びを実感しています。彼らは0から1を作り出すのに課題がありました。しかし、音読劇の活動を通して1(スクリプト)を50にも100にもしてくれました。その中で、指導が説明的になっていましたが、今回学んだDDなどを用いることで「生徒一人一人の開かれた個性」から自然と引き出すことができると感じました。

5

1. 5 (とても良かった)

2.

4月の北研に参加したときにドラマメソッドについて知りました。北原先生がドラマメソッドは北原メソッドの基盤であるとお話しされているのを伺い、ぜひ参加したいと考えてお

りました。いざ参加すると、英語を使うときに大切なことは何かということを肌で感じる
ことができました。自分をオープンにすること、感情を表現すること、アイコンタクトを
することなどを学ぶことができました。ドラマメソッドを実際に体験することで、最初は
恥ずかしさを感じていましたが、どんどん楽しくなってくる感覚など、生徒の立場を体験
することができて、嬉しかったです。

3. Talk &

Listenの指導方法です。私の授業で、スキットや劇を生徒に演じさせる時、生徒はまず暗
記するということをしていました。(まず覚えなさいとはいいませんが、、、)いざ
発表本番をむかえると、見ていてあまり面白くない、ということがありました。生徒に1
00%感情を乗せさせることができていない、完璧に覚えなければということばかり生徒が
考えてしまっている、どうすれば乗ってくれるんだろうと考えることがありました。

研修の中でこの私の疑問を解決するTalk & Listen

という指導方法を学びました。「まずは覚える」という姿勢ではなく、まずは内容理解を行
い、その後は一緒に演じる仲間とアイコンタクトをとって読み合わせを何度も行う。その
中で、声の調子を変えたり、動きをつけたりして、練習を重ねていく、そしていつの間
にか覚えている。また感情をのせることもできるようになっている。

今度スキットや劇をするとき、また教科書を音読するときに、この指導方法でやってみよ
うと思いました。

4.

教員の私自身が心をオープンにすることが非常に大切だと思いました。生徒に求めるので
はなく、まずは自分が変わることが大切であると学びました。今回学んだ指導方法はもち
ろんですが、先生方の明るさや心をオープンにする姿勢を私も見習って出していこうと
思いました。

5. 貴重な経験をさせていただきました。ありがとうございました。英語劇をしたことがな
く、また学生の時にこのような授業をうけてこなかったので、自分自身が生徒のように
ドラマメソッドの指導を受けれて、とても刺激になりました。また、現在は日本語も指導
しています。日本語の授業でもたくさん使えそうな指導方法があったので、取り入れたい
と思います。ありがとうございました。

6

1.

とても良かった5

2.

普段、映画やテレビで見るような役者達の演技が、どんな考え方がベースになっているの
かが分かった。私が好きなオペラと比較しながら講座を受講した。オペラの場合は、音楽
が、登場人物の状況や感情を語っている。登場人物の立ち位置などは、あらゆる舞台芸術
と共通している。劇の練習過程の体験は、タイムマネジメントをしながら、二つのグルー
プが違う活動をして飽きないような工夫されていた。

3.

「Beat 7」では、劇の経験豊富なメンバーと活動することによって、役作りをどうやったら良いのかが分かった。

4.

是非とも、奈良橋陽子さんを招いた講座を実現していただきたい。可能であれば、英語が苦手な日本人役者を、どのようにハリウッド映画に出演できるようにトレーニングしたかを体験したい。音楽以外では、劇作家の井上ひさしさんやジャーナリストの筑紫哲也さんとお会いしたことがある。今回のように、第一線で活躍する人たちから、自分の仕事について語っていただくことを直接自分の耳で聞くことは、学校を卒業して色々な場面で活躍する青少年を育成する上で、大きな参考になる。

7

1. 本日のワークショップ

とても良かった 5

2. 設問1について具体的にその理由は？

段階的に自分をオープンにしていくメソッドが面白かった。大きな声を出させたり、アイコンタクトを取らせるための方法が楽しく学べたから。

3. 特に良かった、ためになったと思われるアクティビティは？

一回転してセリフを言うアクティビティが面白かった

4. 今後期待することは？

また北研でドラマメソッドを教えて頂きたいし、出来るならフレンズのような劇を継続して作り上げたい。

5. 何でもご自由にお書き下さい。

この度はとても楽しく、すぐに実践できるドラマメソッドを教えて頂き、ありがとうございました。早速月曜日に、テスト明けのお楽しみの授業として今日教えていただいたことを実践してみたいと思います。そしてぜひ、また今度、短編で構いませんので、実際演じるまで教えていただければ幸いです。北研の英語教育にもたくさんのドラマメソッドが共通していることが通じ合っていて面白かったです。また、教えて頂けるのを楽しみにしています。

8

1, 5

2, 英語劇の基本を体験できたから。また、太田先生の著書ではわからなかった細かいことが、実体験することで理解が深まり、英語の授業にすぐ取り入れられそうだと感じたから。ドラマメソッドに関するをもっと色々学びたいと感じました。

3, 全てですが、特にDialog Dynamics

4, ぜひまた研修を受けさせていただきたいです。第2弾期待しています。

5, 全国の英語教師にドラマメソッドの素晴らしさをぜひ伝えたいです。MLSは北原メ

ソッドと同様、日本の英語を救う鍵になると思いました。

(私も都内に住んでいたら、ぜひ先生の教室に通わせていただきたいです。)

9

1. 評価

5 (とても良かった)

2. その理由

1つの短いスキットも、切り口を変えれば何度でも楽しく読むことができると知りました。おかげさまで“Look at that man! I think it's Steve Jones…”の会話はしっかり脳にインプットされ、今もそらんじることができます。活動の前後には必ずその意味を説明して下さったので、指導において大事にすべきことを理解できたことも良かったです。説明を聞いていて、英語教員は英語という言語そのものによるコミュニケーションだけでなく、身振り手振りやアイコンタクトといった非言語によるコミュニケーションの重要性も理解しておくべきだと改めて感じました。私自身も、前者はもちろん後者の力を身に着ける努力をしていきたいと思います。

3. 特に良かったアクティビティ

どの活動も楽しく実践的でしたが、それぞれの活動に発表者を選んでくれたのが良かったです。人前で発表するのは緊張するものですが、「次は自分が発表するかも…」という気持ちで活動に取り組むので、より熱が入ります。とりわけ北研メンバーは、北原先生を代表にユーモアあふれる先生方がいっぱいいるので、面白くて笑っぱなしでした。そういった発表を見ていると、私も自然と「これ、どうやったら面白くなるかな…」と考えだしていて、英語を学んでいるという感覚を超えて、英語をひとつのツールとして自分を表現することを目標に出来ていたように思います。だから発表って必要なんだ！授業にはユーモアが欠かせないんだ！と改めて発見しましたし、生徒の気持ちになって授業を考え直すことができました。

4. 今後期待すること

グループに分かれてスキットを演じるものがありましたが、発表の場がなく残念でした。それまでの活動で心身ともにしっかり温まっていたので、グループメンバーとの練習では場面の背景を考えたり、登場人物の個性を想像したりと、とても盛り上がりました。他のグループの場面解釈も気になりましたし、一日の総仕上げとしてのグループ発表があったら良かったなと思います。

5. 自由記述

今回の学びの中で特に印象に残ったのは、演じるということは“natural”を目指すのではなく“real”を追求するものだというところです。英語の授業内で行う短いスキット指導では、そこまでこだわる機会はないかもしれません。ただ、演技の本質に触れることで、指導に奥行きができることは間違いないと感じています。何より、今回の研修は私自身がとても楽しかったです。体を動かして英語を学ぶことは、子どもたちだけではなく体や頭が凝り固まった大人にこそ必要なのかもしれません。またMLSメソッドを体験する機会が

あれば、ぜひ参加したいです。

10

1、本日のワークショップ

とても良かった

2、1の理由

もちろん授業でもやってみたいと思う内容がたくさんありましたが、太田社長とClaudia先生の説明だけでなく、実際に生徒側として実践することによって、その効果や子ども目線に立った時の感覚を理解しながら学ぶことができました。

3、特に良かった、為になったアクティビティ

Dialogue Dynamics

4、今後期待すること

自分はまだ授業で劇を作り上げる授業をしたことがないので、また北研で、実際に劇を作り上げるまでのプロセス（資料p.15）の流れをより具体的に学ばせていただきたい。

5、自由コメント

話を聞いているだけでなく、実践しながらやることで楽しく学ばせていただき、時間があっという間に過ぎました。貴重な時間をありがとうございました。

11

1. 5(とても良かった)

2.状況を理解し、感情を経験することにより、声の出し方や表情が自ずと生まれ、言葉に命が吹き込まれ、その人自身が輝くことを実感したから

3. Talk & Listen System

4. Acting is not about imitating and make-believe, but about the ability "to experience real emotions". になる瞬間を実感したい

5. 初めてこのようなワークショップを経験し、次はどんなことをするのだろうとドキドキワクワクが止まりませんでした。きっと子どもたちも同じだろうと思います。授業で、いかにこのような経験を子どもたちにさせられるか、これが今の私の課題です。

12

1. 4

2. 1の理由 Dialogue Dynamicsはとてもよかった。英語の授業にも使える。Play makingは、劇の経験のない私には難しかった。

3. Part1です。すべて参考になりました。やっていて私自身もとても楽しかったです。

4. 中学校の英語の教科書を使ったらどうできるか実際にやってみたい。

5. 本日は、ありがとうございました。こういう活動をしている方々がいることを初めて知りました。ホームページも見させていただきました。この活動で英語で自分のことを表現できることもたちが増えていくといいなと思います。私も英語の授業の中でこのメソッドを使

っていきいきと自己表現できる生徒を増やしていきたいと思います。

1 3

1 5 とても良かった

2 (1) 入り口の活動 (Ice Breaker) から、グループで学び合っていく活動 (P13 “Friday the 13th”) までが短い時間で網羅されていた。

(2) テキストP.6～の理論+実際に英語劇を指導するために必要なこともエッセンスを分かりやすく教えていただいた。

(3) 参加者が身体を動かす場面と、理論を考える場面のバランスが良かった。

(4) 楽しく、笑いがでるワークショップでリラックスして学べた。

3 すぐに教室にどうにゅうできそうなもの

(1) Ice Breaker: 授業開きや、学年開きにも使えると思う。

(2) Talk & Listen System: 1年の始めにこれをやる。スキット作り、発表がスムーズ、効果的になる、と思う。特にDDは通常の音読指導に導入できる。

(3) テキスト目次の★Can be used with any dialogue: ii Repeat iii An interpreter も授業で活用できる。

(4) テキストp.13“Friday the 13th”のグループワークが楽しかった。この種の活動は学年末など時間の余裕があるときにもできるか。

4 まずは、DDを取り入れた音読が広まり楽しくなることを期待します。教室で意味が分り、正しい発音、抑揚等で教科書の本文を読めるようにする。これは、どの教室でも保証されなければならない。タブレットが配布され、状況は以前よりは改善されたが、タブレットの音声だけでは、不十分。基礎は、学校で日本人教師が教えなければならない、と考えるからです。

5 短い時間で、中身の濃いワークショップを企画して下さり、どうもありがとうございました。少なくとも私は、1～2回ではなかなか頭に定着しなかったので、これからも引き続き、どうぞよろしくお願いします。

1 4

1 (5 とてもとても良かったです。)

2 体を動かしたり、いろいろな発声をしたり、ペアやグループで与えられた英文をどのように演じるか考えてみたりすることは勉強ばくなくて、とてもワクワクする時間でした。ドラマメソッドがなぜ有効なのか、それも中学生の英語教育にも合わせることができのかがよく理解できました。

3 ペアでやったListen and Talk Systemは英文を暗唱するつもりがなくとも相手意識を持って英文を読んでいる間に自然と英文を覚えられていて良かった。何度も同じ英文を読んだけど、バラエティ豊かな読み方があったので飽きなかった。

4 懇親会の席で奈良橋陽子先生にも来ていただくことは可能だろうと太田社長が話していたのでぜひ、第2弾をやっていただきたい。

5 北原先生の北原メソッドがドラマメソッドに基づいている部分がたくさんあることは知っていたが、今回のワークショップを通してより深く理解できました。教育に演劇の手法を
どんどん取り入れていきたいと思いました。ありがとうございました。

1 5

1. 5 とてもよかったです
2. 舞台の歴史から、表現方法について学ぶまたとない機会だったから
3. ジブリッシュについてです。これは英語に限らず人前で話すときの表現として活用できると感じました。表情や身振りの大切さを感じます
4. 教科書にMLSの指導法を取り入れた場合どのような形になるのか知りたいです

1 6

1. 5 (とても良かった)
2. 台本を読むのではなく、会話のやりとりの背景にある状況・場面、どういう立場にいる人がその言葉を発しているのかを、自然の流れの中で考えさせられる方法を教わったからです。
3. グループになってTalk & Listen systemで台本を読み上げた活動がとてもためになりました。9人の登場人物による会話文ということで読み合わせましたが、誰なのかどういう状況なのか、セリフから登場人物の関係を探りながら読み合わせました。色々な意見が出てとても興味深かったです。そして相手のセリフをよく聞いてから自分が発話することで、セリフが記号ではなく、意味を持つのだと改めて感じさせられました。
4. ますますこのメソッドを多くの教員に知ってもらいたいです。
5. 普段から生徒は、授業でスキットを演じる機会がとても多いのですが、そのセリフをどういう気持ちから登場人物が発したのかを生徒に十分に考えさせられていませんでした。口頭で確認したところで、頭でわかっているにもかかわらず演じることになかなかつながらなかった。しかし今回、どうしたら改善できるかを教えていただくことができ、感謝しております！貴重な体験をありがとうございました。

1 7

- 1 とても良かった 5
- 2 ただダイアログを言うが、相手の目を見て言う(英語を発話している時には教科書を見ないでいう)アイコンタクトの重要性が伝わってきた。また高い声、低い声、ゆっくり、速く、などバリエーションをこなすことで自分の英語を話すときに音域とでも言いますか、そのゾーンを少し広げる活動だなと思いました。そして楽しかった。
- 3 ジブリッシュとInterpreterは印象に残っていて、いつでもどこでも使えるなと思いました。
- 4 教科書を使った活動とか教えてもらえると(今回は限りなく使えるものばかりでした)ありがたい。

5 とにかく、日本式のお辞儀ができるようになるまで5年間かかったと言う件が一番印象に残ってます。アイコンタクトの重要性が伝わってきました。楽しい研修をありがとうございました。

1 8

1. 5 (とても良かった)

2. 終始楽しく興味深く、また、自分の日頃の授業に役立つ内容を教えて頂けたからです。
3. Icebreakers やTalk & Listen で、ひとつひとつ夢中になってペアの相手と取り組みながら、心と身体がほぐれ、自分の声、身体、表情で表現できる幅がどんどん広がって行くことを実感しました。対話のセリフを、いきなり暗唱の方向で固めていくのではなく、場面をよく踏まえたうえでアイコンタクトや、早い遅い、高い声低い声などコントラストをつけて楽しく読み合わせているうちにすっかりと場面とセリフが自然頭と身体に入っている、という感覚がとても気持ちよくて、すぐに自分の生徒にも味わってもらいたいと強く感じました。

4. 今後、北原メソッドとMLSのコラボが**つづき**、北原先生が言われるように、英語教育の現状と、閉塞した現在の学校システムの活性化 (Kitahara de essay 731)に繋がっていけばいいな、と思っております。私自身もこれからも学んで実践に取り入れて行きたいです。
5. 個人的な思い出ですが、中学生のとき映画に関心を持ち、買っていた「ロードショー」や「スクリーン」といった雑誌の付録で、「映画スター名鑑」という、有名俳優・監督を一人ひとり解説している付録をよく読んでいて、そのなかでスタニラフスキーメソッドやアクターズスタジオのことがでていました。ジェームス・ディーン、マーロン・ブランド、アル・パチーノ、ポール・ニューマン、ロバート・デニロなど、自然でかつ役柄にたましいまできりきりしているような迫真の演技背景にあるのはそれなのだな、と詳しいことはわからずとも感じていたことを思い出しました。そこにある一つをもつ世界の一端を体験することができたことも感動でした。

太田社長さま、Claudiaさま、貴重な学びの機会を誠にありがとうございました。

1 9

1. とても良かった 5

2. ラジオで野村陽子先生に出会って40数年、MLSの存在を知って30年。MLSを設立され、多くの学生、そしてプロの俳優、ハリウッドスターを育てられてきた太田社長さん、そしてパートナーで共にMLSを支えられているクラウディア先生から直々にと指導していただき、夢が叶いました!!そしてshyな日本人にとって相手とのコミュニケーションを通して言葉に伴う内面をも育てていくこのドラマメソッドがいかに有効かを、実際の体験を通して体感し、納得できました。

3. 最初に受けた'Create two lines and talk' 'Way of Walking' 'What are you doing'です!日本人が苦手なeye contactが必然的にとれるよう多くのしかけ(工夫)があり、ちょっとした発想の転換、工夫によって、教室での音読活動が全く違うものになる可能性について

知ることができました。また、体を使って自分をさらけ出して表現する場面が多く、それぞれの個性が爆発していました。もし、行われたのならば、普段気づかない友達同士の個性を認め合い、教室内がとても良い空気が流れると思います。『工夫された疑似体験』は、私にとってkey wordになりました！

4. 太田先生が書かれた著書、「生徒の英会話力が向上する英語劇ドラマメソッド」が小学校・中学校・高校の英語教員に多く知れわたり、読まれ、特に小学英語でのドラマメソッドを使って活動する時間が必修なればよいと思いました。そのためには多くの先生方が体験できるよう文科省をあげて何か働きかけをするなど、何かよい方法はないかと考えます。

5. 本当に今回は、お忙しいところ、私達にワークショップをしてくださり、ありがとうございました。今教えている学生はおそらく将来海外の企業や外国人が働く日本の企業でエンジニアとして働く可能性が高いので、今回教えていただいたドラマメソッドを使い、彼らのコミュニケーションのスキルを高めたいと感じました。また、お食事中にもかかわらず本にサインしていただき、ありがとうございました！太田先生からの“All the best! with love”で今後色々なことをやり抜く力を、クラウディア先生からの“Thank you for taking part in our workshop. With Love”で直接MLSをご教授いただいたことを忘れずクラスで取り組む自信をいただきました。まだこれが入口ですので、今後も勉強させていただきます。今回は本当にありがとうございました。

20

1 今回のワークショップについて

5(とても良かった)

2 実際に動いたり、スクリプトを読んだりなどの活動があり、またMLSについてご説明いただき、あらためてレジュメを見直して学びたいと思いました。

3 特に良かった、ためになったアクティビティ

Talk and Listen

4 今後期待すること

MLSについて、またお話を伺う、今回実施していない活動などをする機会があると嬉しいです。長期の休みの時期等にぜひ講習会などがあれば、参加させていただきたいです。

5 感想

現行の指導要領で、じっくり演劇を行うことができませんが、スキットレベルで今回の学びを活かしたいと思いました。ありがとうございました。

21

1.

5

2.

理論を聞くだけでなく実際に体験することができ、明確なイメージをもつことができたからです。

3.

Talk and Listenです。

最初は配布資料を見た際、なぜセリフが分かれているのか不思議に思いましたがきちんとした目的があり、しかも様々なパターンを通してペアやグループで楽しみながら会話を身につけることができると思ったからです。

4.

私が所属する自治体の研修にもぜひ来ていただきたいです！「ドラマ」という新たな視点が、日々の指導に生かされそうです。

2 2

1 5

2 Ice Breaker の1.Creat two lines and talk. 2. Way of walking. 3. "What are you doing?" Game はどれも英語の授業に役立ちそうな活動でした。

3 Part 1 : Talk and Listen System

4 教科書の本文を「登場人物の心情を理解し、気持ちを込めて音読する」というような目標が設定してあるとき、「内容を理解して」とか「感情を込めて」などと指導していましたが、なにかが足りないような気がしていました。Talk and Listen System のような段階を踏んだやり方があることを初めて知り、授業に応用できるかどうかやってみたいと思っています。

5 ワークショップを開いてくださってありがとうございました。生徒がいきいきと自己表現できるよう、学んだことを授業で試してみたいと思います。